

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	情報通信理論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年後期		
必修・選択の別	選択必修科目(電子情報コース)／選択科目(電気電子コース)／選択必修科目(情報通信コース)						
担当者	五反田博						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・周波数と振幅の異なる正弦波の合成とフーリエ級数展開の関係が説明できる。(A1) ・複素指数関数と複素フーリエ級数展開の関係が説明できる。(A1) ・振幅/位相/パワー/複素スペクトルを計算して求めることができる。(B6) ・エントロピーの概念を説明できて、エントロピーの観点から情報源符号化法を説明できる。(B6) ・誤りの検出と誤り訂正の仕組みを説明できる。(C1) 						
日程と内容	09/17：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 09/24：フーリエ級数展開1 10/01：フーリエ級数展開2 10/08：複素フーリエ級数展開1 10/15：複素フーリエ級数展開2 10/22：フーリエ変換 10/29：フーリエ変換の性質とスペクトル 11/12：離散フーリエ変換1 11/19：離散フーリエ変換2 11/26：フーリエ変換とスペクトルに関するまとめ 12/03：情報の定量化、情報量の定義、エントロピー（平均情報量）、冗長度 12/10：エントロピーから見た符号化、情報源と通信路からみた符号化 12/17：誤りの検出と誤り訂正1 12/24：誤りの検出と誤り訂正2 01/14：総合演習 01/21：定期試験						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	40%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	到達目標は概ね達成した。						
反省点	2割程度は予習復習を進めている様子が伺えたが、大多数は自発的な学習をするまでに至っていない。						
来年度の計画	確率を基礎にしたエントロピーの概念を理解するのに手こずったようである。さらに学生の興味を引いて理解を促すよう工夫したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	大半の学生は講義内容を良く理解できたと考えられる。満足度は8.6であった。						
履修登録者数	30名	定期試験 受験者数	27名	合格者数	25名	合格率	93%